

平成25年度 長浜市立びわ中学校 学校評価総括について(H25.1,7)

全生徒評価項目(達成率)				
学習について	1	授業中、先生の説明や話をしっかり聞くことができた。	82%	
	2	授業中、発表することができた。	69%	
	3	授業中、わからないことは進んで質問できた。	60%	
	4	先生は、わかりやすい授業をしてくれた。	75%	
	5	時間を守って生活ができた。(時を守り)	87%	
	6	掃除をさぼらず取り組めた。(場を清め)	83%	
	7	あいさつがしっかりできた。(礼を正す)	87%	
	8	先生は、よいことや努力したことを認めてくれた。	77%	
	9	学校生活は楽しく送れた。	90%	
	10	ヘルメットを被り、安全に登下校通学できた。	93%	
学校生活について	11	先生は、いじめや悪いことをしたときは、直ぐに指導してくれる。	81%	
	12	部活動に意欲的に取り組めた。	85%	
	13	生徒会活動(委員会活動等)に主体的に取り組めた。	79%	
	14	学校行事(修学旅行、校外学習、宿泊体験学習等)に主体的に取り組めた。	86%	
	15	学校や地域でのボランティア活動に取り組めた。	72%	
	16	私の学級はいじめのない、居心地の良い学級だと思う。	81%	
	家庭生活について	17	親や地域の人にあいさつができた。	89%
		18	家庭学習(自主学習、宿題)に真面目に取り組めた。	81%
		19	早寝、早起きに心がけた。	72%
		20	朝ごはんを毎日食べることができた。	93%

職員評価項目(達成率)			
教育実践について	1	びわ中合言葉は、教育活動の中で浸透し、生かすことができた。	81%
	2	教育実践において、自分の目標をしっかりと持って取り組めた。	79%
	3	小中連携や校内研究の推進に向けて努力できた。	69%
	4	誰にでもわかりやすい授業づくりに努めた。	75%
	5	道徳は年間指導計画に基づき計画的に取り組めた。	77%
	6	授業時間を十分確保し、基礎基本を重視した取り組みができた。	80%
	7	学級・学年間および教師間の連携が密に行われた。	81%
	8	生徒の自尊感情を育成する学級集団・学年集団づくりに取り組めた。	78%
	9	いじめ等に基づき、人権を大切に集団づくりに取り組めた。	75%
	10	特別に支援を要する生徒への配慮を行うことができた。	75%
学習について	11	安全教育や避難訓練等は計画的に進められた。	84%
	12	授業で生徒は、発表ができてきた。	64%
	13	生徒は授業中、先生の話や他の人の意見等をしっかり聞いている。	70%
	14	生徒は家庭学習ができてきた。	66%
	15	生徒は朝学習の読書に取り組めている。	80%
	16	生徒はあいさつができる。	79%
	17	生徒は掃除に真面目に取り組んでいる。	74%
	18	生徒はヘルメットを被り、安全に通学できている。	75%
	19	生徒は楽しい学校生活を送れている。	81%
	20	生徒はきまりを守り、健全な生活を送れている。	89%
生徒指導について	21	生徒は先生に対して、適切な言葉づかいができる。	68%
	22	生徒は部活動に意欲的に取り組んでいる。	80%
	23	生徒は学校行事や生徒会活動に主体的に取り組んでいる。	75%
	24	服装・頭髪・持ち物などの生徒指導をしっかりと行った。	75%
	25	教育相談を計画的かつ必要に応じて行うことができた。	75%
	26	家庭との連携・連絡等、親との意志疎通に取り組んだ。	75%

全保護者評価項目(達成率)			
教育活動	1	びわ中の学校経営の方針は、よくわかる。	80%
	2	合言葉『時を守り、場を清め、礼を正す』を基本とした学校づくりに取り組んでいる。	80%
	3	びわ中は、生徒一人ひとりを大切にしている。	77%
	4	びわ中は、学校行事や体験活動、生徒会活動を通して、生徒の自尊感情の育成に取り組んでいる。	81%
	5	びわ中は、道徳の時間を大切に、自他ともに豊かな心の育成に取り組んでいる。	79%
	6	びわ中は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	74%
	7	びわ中は、地域の学校として地域人材や地域の財産を活用した教育活動に取り組んでいる。	79%
	8	びわ中の生徒は、真面目に授業を受けている。	80%
	9	びわ中の生徒は、部活動に真面目に取り組んでいる。	80%
	10	びわ中の生徒は、挨拶ができる。	74%
生徒の様子	11	びわ中の生徒は、ヘルメットを被って通学できている。	81%
	12	びわ中の生徒は、楽しく学校生活を送っている。	80%
	13	びわ中は、学校公開日をおして開かれた学校づくりに取り組んでいる。	82%
	14	びわ中は、PTA活動に積極的に取り組んでいる。	78%
	15	びわ中は、保護者との連携・連絡を密にしている。	74%
	16	学校の様子は学校だよりや学年・学級通信・ホームページでよくわかる。	76%

学校関係者評価項目(達成率)			
教育実践について	1	びわ中の学校経営の方針は、保護者によくわかっている。	88%
	2	『時を守り、場を清め、礼を正す』をびわ中の合言葉として取り組んでいる。	100%
	3	先生は、わかりやすく、楽しい授業に努めている。	75%
	4	先生は、子どもをよく理解し、真剣に取り組んでいる。	75%
	5	学校は、体験活動や道徳教育などをおして、生徒に自信を持たせるようしている。	100%
	6	服装・頭髪・持ち物などの生徒指導をしっかりと行った。	83%
	7	生徒は、しっかりと授業を受けている。	79%
	8	生徒は、部活動に意欲的に取り組んでいる。	79%
	9	生徒は、あいさつがよくできる。	83%
	10	生徒は、しっかりとヘルメットをかぶって通学できている。	79%
生徒の様子	11	生徒は楽しい学校生活を送れている。	88%
	12	生徒は生徒会活動に主体的に取り組んでいる。	92%
	13	学校は、授業参観などをおして開かれた学校づくりに取り組んでいる。	96%
	14	学校は、地域やPTAとのつながりを大切にしている。	92%
	15	学校の様子を学校・学年・学級通信・ホームページでよく知ることができる。	75%
	16	学校は、家庭への連絡や意思疎通がしっかりとできている。	79%

	内部評価(生徒、職員、保護者)	外部評価(学校関係者)	改善策について
教育実践について	<ul style="list-style-type: none"> ・合言葉を基本とした学校づくりが浸透してきている。 ・地域と連携し、開かれた学校づくりに取り組んでいる。 ・行事を通して、生徒の自尊感情を高め、楽しい学校生活を送れている生徒が多い。 ・授業時数の確保に努めている。 ・特別支援学級の支援体制が充実してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・びわ中の合言葉は、5年間で生徒・保護者にかなり浸透し、実践されている。更に、高い取り組みができるように期待したい。 ・合言葉だけでなく、態度や行動に表れてこそ校風や伝統になるものと思う。 ・合言葉が無意識の内に実践できるレベルまで高めたい。 ・生徒に自信を持たせる真剣な取り組みを願う。 ・言葉遣いの大切さをきめ細かく指導してほしい。 ・小中連携を深めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合い言葉は唱え続けることが肝要。それまでは意識をさせる方法で実践させると良い。 ・言葉の乱れについて保護者にも現状(事例をあげて)を報告し、家庭の中でも正しい言葉遣いの指導が必要。びわ地域の方の中には、尊敬語や謙譲語の素材がたくさんある。 ・合言葉の具体的実践として、朝のスタートを大切に。 (遅刻0と立腹の取り組み:朝の会30秒) ・学期毎に1回程度ではどうか。地域住民の潜在力を活用する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は、どの学年も真面目に受け、先生の説明もしっかり聞くことができる。 ・授業が分からないと答える生徒が全体で3割弱いる。特に、上級生の行事参加が積極的であったのは喜ばしい。 ・学力には個人差もあり、発表は自信がないとできない生徒が多い。家庭学習時間が少ないのが課題。 ・計算力、書く力、作業する力が弱くなっている。 ・話を聞いていることと、聞いて分かったということが結びついていない生徒が多い。 ・授業でわからないことを質問するのが少ないのは、授業のあり方に問題がないか振り返ることが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期末において授業(特定の教科)が分からない生徒も少数数いるようだが、先生方はその方策をどのようにされているか。 ・授業態度はどの学年も「受け身」で消極的な感じが少し心配である。学校行事には積極的に取り組んでいて安心した。 ・数学など分からない生徒が多いようなのでそれらの生徒の指導をお願いしたい。 ・生徒から「分かりやすい授業」に高いポイントがでているのに、「わからないことに質問が出来ない」という矛盾した評価が出ていること対策を。 ・教職員の自由記述で学習に関する記述が見あたらない。学習に対する分析を具体的にを行い、どのように取り組むべきか、具体的方策を論じることが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生と管理職の面談を実施し、改善を。 ・補習授業の他、ボランティア等の先進的な方法を考えてはどうか。 ・釈迦に説法かと思うが質問しやすい環境づくりを。 ・特別支援教育の視点に立った授業実践し、学習のめあてを提示することで本時の授業の充実させる。 ・学力の定着のために、授業後や単元終了後の確認テスト、小テストを実施して、理解度を確認・検証する。 ・グループ学習を活用し、発表させたり、お互いに教え合い学習をさせ、授業を活性化させる。 ・学年毎に低学力生徒に対し、定期的な個別支援を実施する。
学習指導について	<ul style="list-style-type: none"> ・通学時のヘルメットの着用がよくなったが、依然としてリュート前の並進歩行が多い。 ・不要物の所持が少なくなり、規則正しい生活を送れている。 ・学校生活が楽しく送れている生徒が殆どであるが、少数の楽しくないや答える生徒の配慮が必要である。 ・名札、スカーフなど服装・身だしなみのできない生徒も少数ではあるがいる。 ・他校と比較すると、自分から挨拶をする生徒が少ない。 ・生徒が教師に対して、ため口で話すなど、言葉遣いが良くない。言葉遣いについて、時と場に応じた話し方ができるよう指導することが大切。 ・教師のイジメ等に対する指導に対して、生徒の捉え方が理解されてきている。 ・定例的な生徒集会の開催ができ、生徒の自治活動ができるようになってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由記述を読むと3年生はしっかりと考えた考えや意見が述べられていて先生方の指導の成果が伺える。 ・元気に学校生活を送っているように見える。 ・行事に対しては充分満足すべきものであると思う。特に、上級生の行事参加が積極的であったのは喜ばしい。 ・学習面、部活面については、少々不満・心配であり、部活の練習や試合が少ないという生徒や保護者の声が目立つ。 ・遅刻の実態調査はどうなっているのか。 ・通学途上での挨拶が昨年に比べ少なくなっているようである。下校時に特に地域住民に挨拶をすること。 ・いじめへの対応と安全への対応を更に徹底すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメットのご紐をしっかりとかけよう指導すること。 ・部活動のボランティアを募ってみるのもどうか。 ・毎日の生活リズムについて指導すること。 ・登下校時、特に下校時の挨拶の徹底をすること。 ・挨拶については、生徒と保護者の間に温度差を感じる。大人は、待ちの姿勢を取らずに、先に声をかけたいもの。併せて、地域への周知連携も図る。 ・職員室での生徒との会話に「です、ます」をつけるように職員も指導の徹底を。併せて、場に応じた言葉遣いを、単語でなく、しっかりと会話できるように指導する。(礼を正す、心構えを生徒に浸透させる。) ・教師の言葉遣いにも態度を正すこと。
	<ul style="list-style-type: none"> ・校内で生徒会の企画するボランティア活動への参加は多いが、地域でのボランティア活動となると参加者が少ない。特に、今年は、下学年の参加者が少ない。 ・保護者との連携・連絡が密であるとの評価が低いのは、学校と保護者の感覚の乖離があるのではないかと。電話だけの連絡だけでなく、訪問等を通じて顔と顔を付き合わせた丁寧な連携が必要である。 ・有線放送等の活用により、学校行事への参加が広く周知でき、祖父母などの参観も多くなってきた。 ・携帯電話やスマホの利用について、生徒はもとより保護者にも学習会等の対策を講じる必要がある。 ・ホームページの更新を求める声が依然として多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土料理の伝承は、今後も続けていただくと良い。 ・不審火についての経過報告と危機体制解除の連絡をしてはどうか。 ・家庭との連携は十分と思われるが、地域でのボランティア活動が不十分である。地域とのつながりをもう少し、深まる取り組みを願う。 ・学校側の取り組みと保護者が求める姿に温度差を感じる。PTAの取り組みに期待したい。 ・項目にはないが、スマホの取扱を懸念される声が開かれる。 ・開かれた学校づくりに取り組んでいたが、更新の取り組みを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に積極的に参加できる様、配慮すること。(特に、長期休暇中) ・保護者どうしや地域とのつながりは、やはりPTAの取り組みが大事ではないか。より、積極的な活動を望む。 ・ボランティア活動への参加は、何らかの機会にある程度、強制的にでも参加してみるきっかけが必要ではないか。地域に貢献する機会を意図的に計画することも必要。 ・ホームページの更新には、管理職も積極的に関わることが必要。また、ホームページの更新の支援ボランティアの養成も必要。 ・学校の様子などタイムリーに身近な出来事をHPで発信し、保護者等への情報提供を、できていない経緯から、担任や他教科においても指導が必要。 ・家庭との連携が電話対応のみに終わっていないか、家庭訪問による連携を出来る限り行い、良いことも積極的に伝えていくこと。 ・保護者等の学校参観等の参加状況をデータ化し、保護者への啓発を実施。